

政治家が高級料亭で会食をしたという報があると、正木ひろし氏の言葉と思い出します。

「親は自分が食べなくとも子どもにやる。これが親心というものだ。為政者が国民より不味い物を食うようになって初めて親心の政治といえる。」

年末、二人の子どもが待っている母親が、買物をしたいのに千円札一枚もなく、小銭だけしかない、ということを報いました。

政治家がホテルで会合したり、高額な飲食をする費用を、

このような母子のために供する気持ちはないのかと思います。

また国会議員は高額な報酬を得る上に、いろいろな名目の手当を受給し、政党助成金まで受けて、巨額の金を溜め込んでいます。

この際、その全てを吐き出して、困っている人を助けてこそ、真の政治家といえると思います。

トマスを見る国会議は皆、私など
生涯着ることもない程の高級な
仕立の袴・広を着ています。

身につけている物で評価されるのでは
なく、人間としての品格と実績で
評価される人物であって欲しいです。
いずれにしても、今日・明日の食物
を満足に買うことができないう気の
毒な母子家庭を救う政治家が
現われることを求めています。
年賀はがき・お年玉の当選
発表がありました。

例年のことですが、抽選の行事にか
ける費用やお年玉のお金を一
括して困窮している人への援助に
回せば、大勢の人が救えると
思います。郵便事業に携わる
人の中かう、このような声が上が
るようになればいいと思います。この
寒空の下、ひもいひもいをして
いる人への配慮が欲しいと思つて
います。

鍵山秀三郎 拝